



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6-7-12  
電話748-5159  
FAX 748-5179

大野とし子議員一般質問



「庄和高齢者憩いの家」の機能充実を  
高齢者の補聴器購入に補助を

6月6日(火) 大野とし子議員は、①庄和高齢者憩いの家の機能の充実を②庄和総合支所に子育て世代包括支援センターの設置を③高齢者の補聴器購入に補助をについて、一般質問を行いました。

利用者の願いにそって、  
一層の機能の充実を

「庄和高齢者憩いの家」が正風館の談話室に移転すると

の計画が出されました。理由は、一部が区画整理地内に入ることや老朽化もあり公共施設マネジメントによって移転を考えたとのことでした。

利用者説明会において、「ここならば歩いて来て、皆さんに会おうのを楽しみにしていたけれど、正風館では行かない」「利用者が増えて利用できなくならないか」などの不安の声がありました。

大野議員は、現在の取り組みを継続することは当然であり、受付を別にした職員を増員したり、送迎バスなど移動手段を確保したり、今以上

に機能を充実するべきと求めました。福祉部長は「受付、職員の人数、移動手段など必要な取り組みを見極めていきたい。」と答弁しました。

庄和総合支所に子育て世代包括支援センターを

2024年1月新庁舎の稼働に伴い、庄和保健センターで実施している乳幼児健診やがん検診等を、庄和総合支所の空きスペースで実施していきたいとの提案がありました。

大野議員は、子育て世代の相談を身近な場所で受け止めることは重要であり、この機会を捉え、庄和総合支所の福祉、健康保険担当に子育て世代包括支援センターを設置し、市役所同様に、母子健康手帳の配布時に保健師等の助言ができるようにするなど相談体制の充実を求めました。

市民生活部長は「本庁の保健師等とオンラインで相談できるように検討していきたい」と答弁しました。

県内7自治体が高齢者補聴器購入補助を開始

高齢者が聞こえが悪くなることで、人との交流を遠ざけ、認知症になりやすいなど社会問題となっています。埼玉県内において今年から補聴器購入補助を7自治体の実施することになりました。春日部市でも3月議会で「高齢者の補聴器購入補助を求める請願」が採択されています。

大野議員は、多くの自治体ができることから一歩踏み出している。春日部市も実施に向け検討をはじめるとを求めました。

福祉部長は「まずは、実施した自治体の効果を検証していきたい」と答弁しました。



## 木下みえ子議員一般質問

障がい者の暮らしの場を守る施策を  
グループホーム受け入れ態勢の拡充を

た市民アートの終着点として、常設の美術館の設置に向けて取り組んでほしい」と求めました。

6月8日(木)木下みえ子議員は①市民アートを生かす美術館の設置を②障がい者の暮らしを守る市の施策を、の二点について一般質問をおこないました。

## 市民アートを生かす

## 美術館の設置を

木下議員は「市展に参加した方々から市民アートをアーカイブ(収蔵)して誰でもいつでも鑑賞する場が欲しい、と要望する声があります。市の取り組んでき

市長は「市民の作品を常設展示する場としては既存の施設を活用し、新庁舎には市民活動の発表会や絵画展示を行うスペースを設置する予定です。今後これらを活用していきたいと考えています」と答弁しました。

## 誰もが地域で自分らしく

## 生きられる市政を

自立支援協議会や障がいのある方から、市内に入所施設を設置し、グループホーム(GH)への支援拡充や利用者の特性にあった入居への対応をおこない、暮らし

しの場を守って欲しいという切実な声が繰り返し返し市に要望されています。

本市の障がい者支援の現状は、市内に入所施設は無く、市外の86施設に216人が入所しており、入所待機者は58人。

GH数は市内で増加傾向で令和2年度44施設、3年度67施設、4年度71施設が設置されています。入居状況は市内83施設に148人が入居。(定員424人・令和5年5月末現在)市外80施設に113人が入居されています。

支援区分ごとの人数は区分1(1人)・2(46人)・3(71人)・4(96人)・5(131人)・6(308人)合計653人が支援区分認定されています。

市内のGHの受け入れ実態について、特に重度(6以上)の方が車いすで入れ

ない、面接を断られた、という声について質すと「入居条件に支援区分条件はありませんが必要な設備、生活指導員の不足から受け入れ状況は異なり、実態調査については県が行う」と福祉部長が答弁しました。

木下議員は「誰もが地域で自分らしく生きられるように市としての十分な補助と、国や県へのはたらきかけを強め障がい者の暮らしの場を守って欲しい」と求めました。

市長は「GHの充実については共生社会の実現に向けて障害のある方の居住の場の確保として大変重要であると認識をしています。事業者に対して県への許可申請に係る助言指導、本市で施設建設の際の法的助言などGH開設に向けた支援に今後も努めていきたい」と答弁しました。

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

6/18(日) ・山本内科医院(内科系) 牛島956-1Tel-755-7500・ゆりのき医院(小児科系) 谷原1-16-20  
Tel-752-3535・渡辺整形外科医院(外科系) 西金野井309-12Tel-746-0007

6/25(日) ・八木崎診療所(内科系) 粕壁6973-1Tel-752-2195・豊春内科小児科クリニック(小児科系)  
上蛭田681Tel-760-2300・分娩館医院(外科系) 備後西5-4-28Tel739-3883